

愛媛県四国中央警察署協議会会議録
(令和４年度第２回)

日時	令和４年１０月２６日（水曜日） 午後３時１０分～午後５時００分
出席者	１ 警察署協議会 会長以下７人 ２ 警察署 署長以下１１人
議事概要	１ 会長挨拶 今月は、３年ぶりに四国中央市内の各地で秋祭りが開催されました。署員の皆様は、長期間にわたる祭典警備に従事され、ご苦労様でした。本日の協議会では、署長から、「大規模災害への備え」についての諮問を受けておりますので、委員の皆様は活発なご意見をお願いします。 ２ 署長挨拶 平素から四国中央警察署の活動に対しまして、深いご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。 今回の諮問事項につきましては、事前にお伝えしているとおり、「大規模災害への備えについて」であります。全国各地においては、豪雨等による自然災害が依然として続発しているほか、南海トラフ巨大地震の発生も危惧されるなど、災害への対処をめぐる情勢は厳しさを増しています。委員の皆様のお立場や目線から、忌憚のないご意見をお願いいたします。 ３ 業務推進結果、業務推進計画の説明 令和４年６月から９月までの業務推進結果、令和４年１０月から令和５年１月までの業務推進計画について、各課長が報告、説明した。 ４ 質疑応答、意見要望等 (１) 委員（質疑） 先程、地域課長から紹介されたポリストリプルアイという装備は、全警察官が装着しているのか。 回答 地域課長 交番、駐在所、パトカーの全ての地域警察官が、所外活動の

議 事 概 要	際に装着しているが、他の係の警察官も、さまざまな警察活動において活用している。 (2) 委員（質疑） 署庁舎入口に「高校生と築く交通協定」という取組状況が展示されているのを拝見したが、平素から交通危険箇所の情報や取締り要望などを高校生から実際に吸い上げたりしているのか。 回答 交通課長 現時点では生徒からの要望は受けていない。 なお、高校教諭からは危険箇所における交通指導取締要望があったので、警察官による交通監視活動等を実施している。	
	5 諮問及び答申	
	諮問	答申
	大規模災害への備えについて	○ 災害現場の様子や信号機の稼働状況など、災害発生時に必要な情報をいち早く把握できるような情報システムを整備し活用してはどうか。 ○ 被災状況の把握のためだけでなく、災害現場における犯罪抑止のためにも、ドローンを活用してはどうか。また、そのために、ドローンを操作できる警察官を育成してはどうか。 ○ 災害で陸路が遮断された場合の人や物資等の輸送のために、民間や関係機関と積極的に協定を締結し、ヘリコプターや船を活用できるようにしてはどうか。 ○ 市や県だけでなく、自衛隊とも災害発生時の連携をどの

議 事 概 要	ようにするか、平素からの連絡調整が必要だと思う。 ○ 災害発生時の社会的弱者に対するフォローも必要になってくるが、誰が、どこまでのことをするのかといったことまでを市とひとつひとつ検討しておく必要があるのではないか。 ○ 警察庁のホームページに災害情報投稿サイトがある。位置情報を各自で設定し、災害等の状況を写真や動画で情報提供するもので、大変有用だと思う。災害発生時に多くの市民から活用されるよう、警察から市民に広報してはどうか。 ○ どこで大きな災害が発生するかを想定しておくためにも、平素から危険箇所の把握に努められたい。 ○ 災害発生時に警察が最優先で行うことは人命救助と治安維持だと思うが、さまざまな想定に基づく反復訓練を実施されたい。 ○ 大規模災害への備えには予算が必要であり、署単独では対応が困難なこともあると思うので、できる対策から実施してもらいたい。 6 体験発表 平成 30 年 7 月豪雨災害での大洲警察署の被災体験について、当時大
------------------	---

洲警察署警備課長として対応に当たった副署長が発災時の教訓等について体験発表を行った。

7 その他

協議会の開始に先立ち、委員7人は、県警察本部鑑識課員による直轄警察犬の臭気選別活動、足跡追及活動等のデモンストレーションを視察した。



協議会開催状況